

コンクリくん大人気

工学院大 夏休みの科学教室

工学院大学建築学部
の田村雅紀教授と鈴木
澄江教授の研究室は8
月25、26の両日、東京
都新宿区の同大新宿キ
ャンパスで開かれた小

学生を対象としたワー
クショップ「シン・科
学教室」で、「コンクリ
くん」につきり写真
」のブースを開設し
た。

コンクリくんは両研

研究室が2009年から
継続している企画。速
硬セメント、砂、水を
容器の中で練り混ぜ、
約5分でコンクリート
を固める。固まる前に
ビーズやタイル、貝殻



小学生が大学生の助言を受けながら制作した

用できる。体験を通じ
て、練混ぜによってコ
ンクリートが固まって
いく過程、固まった後
の重さや肌ざわりなど
を実感してもらう。

夏休み中の小学生が

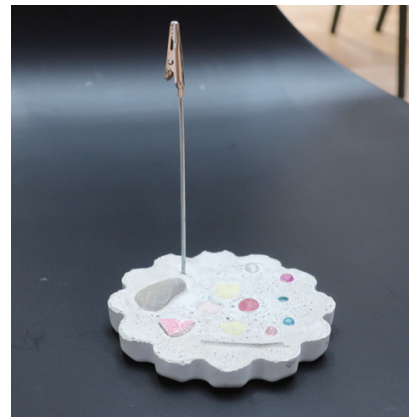
小学生は多数用意さ
れたきらきらアイテム
の色や種類、数量を思
案しながら配置した。
飾り付けはそれぞれが
創意工夫を凝らす作業

今回の取り組みは産
学連携で、太平洋セメ
ントと長谷工コーポレ
ーションが試料提供を
行った。

などの「きらきらアイ
テム」で飾り付け、ワ
ニロクリップやピンな
ども挿しておく。
固まったら容器から
取り出し完成となる。
ペーパーウエイトや写
真立て、メッセージカ
ード立てなどとして実
用できる。体験を通じ

姉さんにコンクリート
の作り方を教えてもら
った」という経験をさ
せることを継続してい
きたい」と語る。同研
究室の学生はコンクリ
ートの基礎知識を習得
しており、多くは卒業
後にゼネコンや建材メ
ーカーに就職する。

これまで累計2万人
以上の小学生がコンク
リくんを作ってきた。
今回は科学教室全体で
20以上のブースがある
中、事前アンケートで
一番人気があったとし
て、会場内で好立地と
される広間入り口付近
のエリアに同ブースが
割り当てられたという。



保護者と一緒
にブースを訪
ね、同研究室
所属の学生約
50人が対応し
た。田村教授
は「小学生に
『お兄さんお

で、田村教授は「得意
な子もいれば、考える
のが苦手な子もいる。
プロがするのと同じよ
うに、材料を選んでデ
ザインするという体験
をしてほしい」と話し
た。